



SINCE 1728

ちかばの酪農／情報誌

らくやんたより



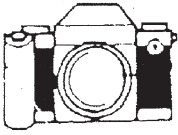
千葉県酪農農業協同組合連合会 / 千葉市若葉区富田町1033-1

☎ 043-312-8512 FAX 043-228-8338 URL <http://www.chikaba.or.jp>

Illustrated by Dairy Farmer Network/Chuo-rakunokaigi

2022 / JUL

NO. 528



第51回 通常総会



千葉県酪連は7月11日、千葉市中央区 千葉市生涯学習センターにて、第51回通常総会を開き、議長に宮崎等氏（長生酪農協）を選任。令和3年度事業報告、剰余金処分案等を原案どおり承認したほか、役員の新補欠選任に関する件について満場一致で可決しました。

購買・ヘルパー表彰

総会に先立って行われた購買事業表彰では、目標達成賞が千葉酪農協に、購買利用高上位は千葉県三和酪農協、千葉県みるく農協、千葉県酪農協。それぞれに県酪連会長から表彰状、全酪連から記念品が贈られました。



ヘルパー表彰では、10年勤続された山本昇平さん、高橋靖さん（ちばミルク南部ヘルパー組合）、5年勤続された山田琴絵さん（袖ヶ浦酪農ヘルパー利用組合）、安藤真実さん（みるく東部ヘルパー利用組合）、渡辺栄治さん（ちばミルク南部ヘルパー組合）、また特別表彰として20年勤続された倉畑慎さん、中村萌さん（ちばミルク南部ヘルパー組合）が表彰されました。



（写真は左から山田琴絵さん、高橋靖さん、倉畑慎さん、中村萌さん）

新役員紹介

荒井隆氏（全国農業協同組合連合会千葉県本部長）が本会理事に選任されました。



千葉県酪連 第51回通常総会開催

県酪連は、7月11日(月)「千葉市生涯学習センター大研修室」にて第51回通常総会を開催しました。議長には宮崎等氏(長生酪農協組合長)を選任し、令和3年度事業報告、剰余金処分案、役員候補欠選任等すべての議案を原案どおり承認しました。

県農林水産部畜産課 大澤課長、全国酪農業協同組合連合会 小谷常務理事をはじめ、関係団体の皆様を来賓に迎え、3年ぶりの通常開催となりました。

非常に厳しい酪農生産環境

総会の冒頭、高橋秀行県酪連会長は、次のとおり挨拶しました。

令和3年度も世界はコロナ禍から抜け出せない状況にありました。遡れば令和2年4月7日千葉県を含む1都6県に緊急事態宣言が初めて発令されてから、既に2年以上が経過し、この間、このウイルスは次々と変異し増殖、感染の広がりは一進一退を繰り返しながら、国内は第6波と言われる感染拡大状態にまで進み、令和4年3月22日に蔓延防止等重点措置が解除となって以降は新たな行動制限の発令はないものの、新規感染者数の減少スピードは鈍化しており、依然として予断を許さない状況であることに変わりはありません。

酪農乳業におきましても、2年間ものコロナ禍は甚大な悪影響をもたらしています。学校給食用牛乳の供給停止、外食産業の時短や休業、

インバウンド需要の喪失による業務用牛乳乳製品の需要減少など、生乳需給の大幅な緩和が長期化し、脱脂粉乳の令和3年度期末在庫量は史上最高の9万8千トン、4月にはついに10万トンを超え、その水準はもはや限界だと言われています。

こうした生乳乳製品需給の緩和という問題以外にも、飼料原料価格の高騰、輸入粗飼料のコンテナ不足、F1や廃用牛相場の低迷、酪農労働力不足など、我が国の酪農はコロナ禍に関連した多くの課題を抱えており、更には令和4年2月24日に突如始まったロシアによるウクライナ侵攻が、世界経済、エネルギー相場や穀物相場に非常に大きな打撃を与えており、配合飼料、粗飼料ともに想像をはるかに超えた暴騰水準となりつつあります。

令和3年度の県内生乳受託販売状況は、生乳生産量193,172ト、前年対比103.1%と、平成21

らくれんだより JUL/2022 NO.528

- 千葉県酪連第51回通常総会開催/野島康祐 ①
- 7~9月期の配合飼料情勢/瀧澤秀樹 ⑤
- 検定の現場から/検定組合/岡本均 ⑥
- 牛ウイルス性下痢(BVD)にご注意!! ⑧
- ミルクフェスティバル2022開催/山口健児 ⑩
- らくれんだよりデータ/乳量/保浦達也 ⑪

年度以来 12 年ぶりに前年を上回り、令和 4 年 3 月の生乳出荷戸数は 404 戸、前年同月比 33 戸減少となり、いよいよ 400 戸を切る状況が現実となります。令和 4 年度の畜産物価格等については、加工原料乳生産者補給金単価は 8 円 26 銭、集送乳調整金単価は 2 円 59 銭、合計 10 円 85 銭（前年度同額）に決定され、交付対象数量は 345 万ト（前年度同量）と設定されました。

本会では、国の補助事業の乳用牛県内継承事業をはじめ、県単独事業の乳量向上・労働時間短縮負担軽減・暑熱対策事業、J-MILK 事業の生産基盤強化総合対策事業、本会独自事業の自家産後継牛確保対策（雌雄判別精液助成事業）及びプログラミング授精による増産対策を実施し、酪農生産基盤の確保に努めました。

現在、急激な生乳生産費の上昇に対応した乳価改定に向け、乳業者との期中乳価交渉を行っているところです。まだ合意に至っていないので具体的な数字の報告はできませんが、今後も本会は、県内酪農家を第一に、歴史と伝統のある千葉県酪農が、長きにわたり存続できますよう、皆様のご協力をいただきながら進めてまいり所存ですので、何卒よろしくお申し上げます。

【令和 3 年度事業報告（抜粋）】

1. 販売事業

(1)生乳受託販売事業---- 令和 3 年度の生乳受託販売は、改めて令和 3 年度から令和 5 年度の 3 年間の「増産・維持」とした 1 年目として、生産基盤の維持・強化対策に努めるとしました。

本会への生乳販売委託率は引き続き 100%（他の販売事業者への委託は無し、6 次産業化での自家使用量は除く）、生産量は、193,172,222 kg、前年実績対比 103.10%、5,809t 増加と平成 21 年度以来 12 年ぶりに前年度を上回り、特に夏季に猛暑とはならな

かった好影響もあり、通年で堅調な推移となりました。また、令和 4 年 3 月の生乳出荷戸数は 404 戸、前年同月堆肥 33 戸減少となりました。

一方の生乳販売は、飲用牛乳等向け処理量は、関東平均では前年実績対比 99.6%と若干ながら前年度を下回り、対する加工発生率は、9.40%（関東）と前年度より 1.72%増加となりました。

また、11 月には年末年始に向けた需給改善と安定販売に少しでも貢献するため、筑波乳業製造の脱脂粉乳購買運動を実施し、6 ト 400 kg の在庫削減に取り組みました。

生乳取引については、酪農乳業双方の継続的な安定、コロナ禍を踏まえた消費の維持のためには、現行価格を維持し市場環境整備や生産基盤維持、酪農理解醸成活動に注力することが重要とし、全ての用途が据え置き決着となりましたが、前述の加工向けの大幅増加が影響し、3 年度プール乳価は 112.345 円/kg（前年度△0.559 円）となりました。

関東生乳販連では、酪農経営も非常に厳しい状況に直面しているが、安定した経営環境の確保と将来的に必要な乳価水準の獲得のためには「処理不可能乳の発生回避」「乳製品在庫の増加抑制」「生乳需給の安定」に最優先で取り組み、事態の改善を図らなければならないとの方針が確認されました。

(2)学校給食用牛乳供給事業---- 供給人員は前年度対比 99.7%と前年同水準、年間供給本数は 87,524 千本（前年度対比 108.9%）、供給対象人員 1 人あたりの年間供給日数は 177.6 日（前年度+15 日）と本数日数ともに前年を大きく上回り、コロナ一斉休校のあった前年の状況からは、概ね回復しました。

(3)牛乳消費拡大事業---- 例年開催していた 6 月 1 日の「牛乳の日イベント、ミルクフェスティバル」はコロナ禍により 2 年続けての

中止となりました。千葉県知事への表敬訪問並びに県庁外壁への県産牛乳普及啓発の懸垂幕掲示は実施することができました。

搾乳体験車「ちかばのまきば号」については、学校への出前授業「モーモースクール」を小学校7校にて実施しました。

県産牛乳普及対策については、県内農プラ支援対策事業、年賀はがきによるメール運動、インターネットホームページ等により県産牛乳の普及定着化を図りました。

2. 購買事業

配合飼料の主原料である米国産トウモロコシは、南米産の作付け遅れによる収量減少懸念や、旺盛な中国の飼料需要と原油高に伴うエタノール需要が堅調に推移したことから、シカゴ相場は高騰しました。

大豆粕についても、食用油の外食需要減退から、搾油量が低調なことに加えて、中国の旺盛な飼料需要によりシカゴ相場は高騰しました。

今期の配合飼料価格は、4月～6月期 5,400円/ト、値上げ、7月～9月期 4,700円/ト、値上げ、10月～12月期 1,550円/ト、値下げ、令和4年1月～3月期 2,900円/ト、値上げとなりました。これにより安定基金より通常補填に加えて、異常補填が4期連続で発動されました。

哺育飼料についても中国の旺盛な脱脂粉乳の需要により相場は堅調に推移し、4期連続で大幅な値上げとなりました。

輸入粗飼料については、米国の早魃により、米国内の酪農家及び肥育農家の自給飼料不足から輸出向け草種に買付が伸び、価格が高騰、北米では日本向けコンテナ船の入船遅れが慢性化し、輸入粗飼料の安定供給に影響を及ぼす事態となりました。

令和3年度購買事業実績は、総取扱数量30,971ト、前年対比98.6%となりました。

3. 生産対策事業

(1) 乳牛改良事業

①登録事業——取り扱い件数は2,584件〔前年度実績対比121.5%〕。血統登録全体では、95.6%ですが、自動登録は141.0%と増加、牛群審査においては、2年ぶりに実施したことで、戸数は107.0%、頭数は156.2%と計画を上回りました。

4年3月末現在の自動登録農家数は59戸（年度増減、3戸増・3戸減）です。

②乳用牛群検定普及定着化事業——4年3月末現在の検定農家戸数は126戸（年度増減、新規3戸・脱退3戸）、検定頭数は、6,414頭です。

③乳牛共進会——11月に第20回関東地区ホルスタイン共進会を本県において開催予定しておりましたが、コロナウイルス感染拡大防止のため中止しました。これに伴い、関東共進会の予選を兼ねた千葉県乳牛共進会も中止となりました。

(2) 酪農基盤強化事業

牛群検定事業への加入推進と検定成績を活用した周産期の適正な管理を主眼とした研修会を実施しました。

(3) 生産指導事業

①酪農後継者育成対策——感染拡大防止のため中止しました。

(4) 酪農経営対策事業

①酪農ヘルパー推進対策——酪農経営支援総合対策事業（酪農経営安定化支援ヘルパー事業）を実施しました。

安定化支援ヘルパー事業は、傷病時に酪農ヘルパーを一定期間継続的に利用するのに備えて互成基金を拠出し互助する取組みを行い、7組合、延べ34名の利用に対し

一部助成し、ヘルパー長期利用の負担軽減を図りました。

千葉県単独事業である酪農ヘルパー傷病時利用支援事業については、本会からの助成分含めて更なる負担軽減を図りました。

令和3年度末の利用組合総数12組合、組合加入戸数は229戸、専任ヘルパー33名、臨時ヘルパー7名となっています。

②酪農経営強化対策——令和3年度酪農経営支援総合対策事業（中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業）の「乳用牛の円滑な継承」につきましては、11組合・84戸・10,112,000円の助成を受け、316頭が県内に継承されました。

県単独事業である令和3年度ちばの酪農増産支援事業については、「乳量向上推進事業」（検定農家対象）に64戸・8,100,000円、「スマート畜産推進事業」に4戸・3,830,874円、検定農家対象の「ちばの酪農夏季生産性向上対策普及事業」に7戸・3,355,446円の助成を受けました。

③後継牛確保育成対策——性判別精液導入事業を行い、11組合・87戸・611本に対し、2,477,841円を助成しました。

④プログラミング授精による増産対策事業——繁殖成績の向上を目的としたプログラミング授精を実施した、9組合・112戸・3,106回に対し、6,833,447円を助成しました。

令和3年度購買事業褒章要領による表彰会員

○目標達成賞

千葉酪農農業協同組合

○購買利用高上位3組合

千葉県三和酪農農業協同組合

千葉県みるく農業協同組合

千葉酪農農業協同組合

酪農ヘルパー勤続表彰者

○5年勤続

山田 琴絵（袖ヶ浦酪農ヘルパー利用組合）

安藤 真実（みるく東部ヘルパー利用組合）

渡辺 栄治（ちばミルク南部ヘルパー組合）

○10年勤続

山本 昇平（ちばミルク南部ヘルパー組合）

高橋 靖（ちばミルク南部ヘルパー組合）

○特別表彰（20年勤続）

倉畑 慎（ちばミルク南部ヘルパー組合）

中村 萌（ちばミルク南部ヘルパー組合）

（☎野島康祐）

令和4年7～9月期の配合飼料情勢

1. 主原料の米国産トウモロコシについて

6月10日米国農務省の需給予想において2022年産の生産量は144億6,000万ブッシェル(3億6,730万トン・前年比95.6%)、単収は177ブッシェル/エーカー、総需要量145億7,000万ブッシェル(3億7,010万トン)、期末在庫14億ブッシェル(3,556万トン)、在庫率9.61%と発表されました。

米国産とうもろこしについては、作付遅延に伴う生産量減少懸念や、ロシア・ウクライナ情勢を受けた世界的な需給逼迫懸念により、2012年以来10年振りに800¢/buを超え、歴史的な高騰相場となっています。

2. 副原料の油粕類の大豆粕について

南米産大豆の天候不順に伴う生産量減少や、大幅な円安の影響により、過去にない相場となっています。

3. 糟糠類について

グルテンフィードは、原材料価格や製造コストの上昇により、大幅な値上げとなっています。ふすまについても逼迫する他原料との兼合で引合いが強いため、大幅な値上げとなっています。

4. 脱脂粉乳について

中国向けの需要が一服しているものの、主要産地の生乳生産量が減少傾向にあることや、製造コストの上昇により、相場は堅調に推移しており、為替の大幅な円安の影響により価格は高騰しています。

5. 海上運賃について

一時軟調に推移していたものの、南米産穀物や豪州産石炭等の需要が強いため、底堅く推移しています。

6. 外国為替について

日米両国における金融政策の方向性の違いから、日米金利差は引続き拡大傾向にあり、一時136円を超え1998年10月以来24年振りの円安水準となるなど、大幅な円安・ドル高基調で推移しています。

以上のことから、令和4年度第2四半期(7～9月)配合飼料価格につきましては、下記のとおり改定させていただきますので、ご了承賜りますようお願い申し上げます。

(1) 配合飼料 トン当たり 11,200円値上げ

(2) 哺育飼料 トン当たり 94,000円値上げ

なお、(一社)全国畜産配合飼料価格安定基金からの令和4年度第1四半期分(4～6月の配合飼料価格差補填金の交付は、トン当たり9,800円で決定いたしました。

(㈬瀧澤秀樹)

検定の現場から その95



新型コロナウイルスが世界中を駆け巡り・・・ステイホームによる牛乳の消費の落ち込み、粗飼料等の輸入の遅延、そして円高・戦争での飼料価格高騰・燃料など固定費の値上と、この2年半国内だけでなく世界中が混乱の渦に巻き込まれています。

今、私自信何が出来るのか？と問いただしてみても、今まで通り正確な検定データーの提供しか無いと答えが返ってきます。

過去、酪農業界は様々な窮地を乗り越えてきました。今回のレベルは違うかもしれませんが、きっと小さな希望が見えてくるのを祈りたいと思います。

そして、将来外的要因に左右されない酪農形態を今から考え模索してもらいたいと願います。

・既に始まっています！活用しましょう！

左のリーフレットは昨年皆さんに配られた、関東生乳販連からのお知らせです。生乳検査所でバルク乳定期検査や依頼検査時に乳質改善に取り組む際に活用できる3項目「脂肪酸組成・BHB・FFA」の結果の提供をするとの案内でした。既に牛群検定では「BHB (乳中ケトン体)」と「FFA (乳中遊離脂肪酸)」は乳質速報にて検査数値をお知らせしていますが、「脂肪酸組成」について

はまだ検定ではお知らせ出来てない状況ですが、とても大切に重要な情報なので紹介します。

・脂肪酸組成ってなに？

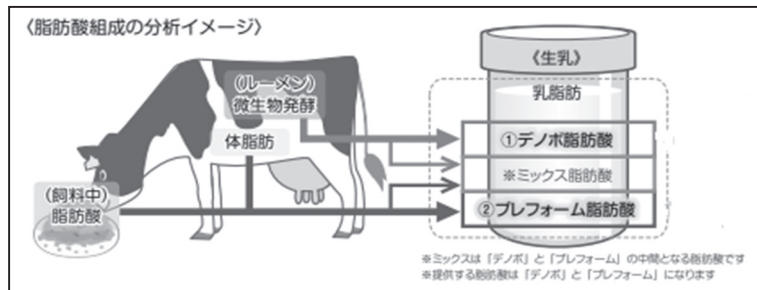
酪農現場ではよく脂肪酸と言う単語はよく出てきます。ここでは生乳中の脂肪酸の話です。さて、生乳中の脂肪はグリセルロースと9割を占める脂肪酸で構成されています。脂肪酸は炭素(C)がいくつも連結した構造になっています。

その炭素の数(長さ)によって呼び名が変化します。例えば炭素が4

つあるものを「酪酸(C4)」と呼びます。そして、脂肪酸は炭素の数や由来によって大きく3つに分かれます。イメージ図を参考に「デノボ(De novo)脂肪酸」「プレフォーム(Preformed)脂肪酸」「ミックス(Mixed)脂肪酸」に区分されます。

・脂肪酸組成で解る事！

脂肪酸組成の情報は、乳脂肪がどこから来ている乳脂肪なのかが解り、牛やルーメンの健康状態をモニターできる数値なんです。ちなみに、「デノボ」とはラテン語で「新たに」という意味で、「プレフォーム」とは「あらかじめ作られている」という意味だそうです。この意味から「デノボ」はルーメン由来で新たに作られた脂肪酸、「プレフォーム」は飼料中・牛の蓄えていた体脂肪が由来する脂肪酸です。つまり「プレフォーム脂肪酸」が高いと体脂肪を動員しなくては維持で



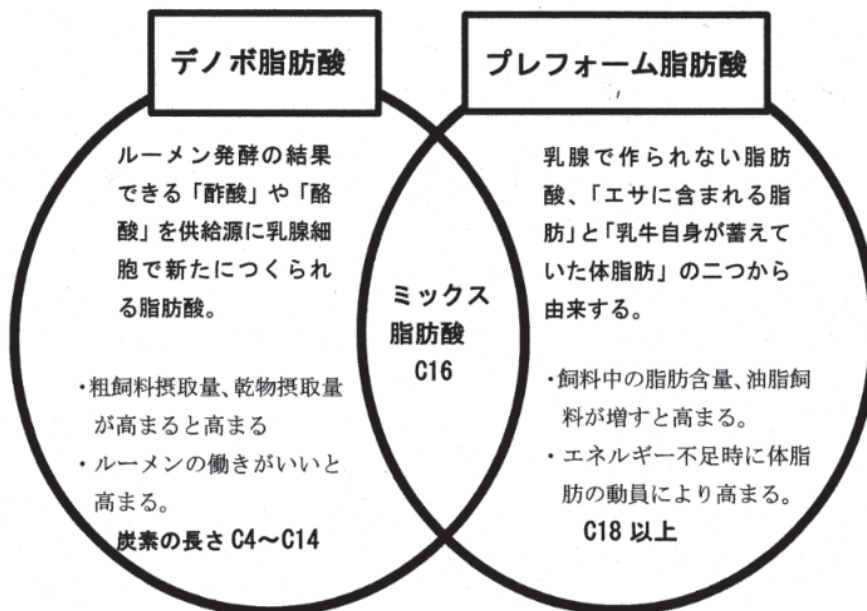
北海道酪農検定検査協会より

きない状況に陥っていると言う事です。特に泌乳初期に顕著に表れますので、検定の乳量速報の「BHB（乳中ケトン体）」数値を確認して上で牛の健康状態を見てください。

・重要なのは高い「デノボ脂肪酸」数値の維持！

それでは「デノボ」とは新たにと言う意味です。新たに乳腺細胞で作られた脂肪酸で、その供給源の「酢酸」や「酪酸」はルーメンから来ています。つまり「デノボ脂肪酸」数値が高いと言う事は、ルーメンでの発酵が良好の証なのです。

そして、ルーメンが良好なことは牛が健康な状態であると言う事です。



・参考数値！

新しい検査項目のうち「脂肪酸組成」について説明しました。ただ千葉県では現状バルク乳の数値なので参考にしかありませんが、北海道酪農検定検査協会が出している指標を紹介しておきます。

脂肪酸 (%)	泌乳初期	泌乳中後期
分娩後	～60日	61日～
デノボ FA	22%以上	28%以上
プレフォーム FA	50%以下	40%以下
乳中 (%)	全乳期	
デノボ Milk	0.9%以上	

・第19回定期総会を開催！！

6月17日千葉市民会館会議室にて第19回定期総会を開催しました。新型コロナウイルス感染も落ち着いてきた時期でもあり、2年ぶりに来賓（県酪連・県畜産課）を迎え、会議室とオンラインの併用の開催となりました。総会では「令和3年度事業報告・決算報告」、「令和4年度事業計画・収支予算」、「令和4年度負担金額・徴収方法」、「任期満了に伴う役員選任」の提出議案の全ての承認を頂きました。



（挨拶する糟谷組合長）

総会終了後、役員会を開催し、組合長に糟谷英文（鴨川地域）、副組合長に切替宣充（袖ヶ浦地域）水野圭一（安房東地域）、監事に高橋秀嘉（八千代・佐倉・東葛地域）佐久間規幸（市原・富津・木更津・君津地域）を選任しました。総会で選任された3役以外の方の紹介をします。杉田義明（安房西地域）、石井貴明（千葉・印旛地域）、高木輝博（香取・海匝地域）戸尻良一（山武地域）、田辺義輝（長生地域）、大地和宏（夷隅地域）以上11名の役員で2年間運営していきますので、皆様よろしくお願ひします。

（☞千葉県乳用牛群改良検定組合スーパー検定員・岡本均）

牛ウイルス性下痢（BVD）にご注意！！

どんな病気？

BVD ウイルスの感染により、牛に発熱、下痢、呼吸器症状、発育不良、繁殖障害などを起こす病気です。

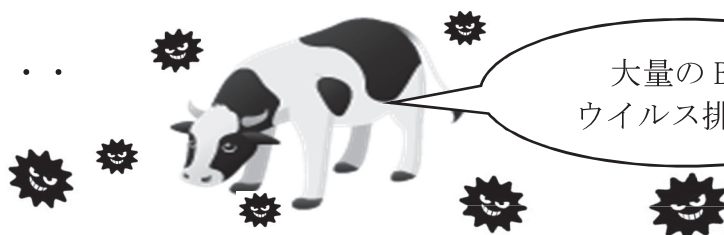
この病気で一番問題となるのが **PI 牛（持続感染牛）** の存在です。

PI 牛ってどんな牛？

妊娠牛がまだ胎子の免疫機能ができていない時期（胎齢 80~100 日前後）に感染した場合には、**胎子が BVD ウイルスを異物と認識せず、ウイルスと共存したままの PI 牛として生まれる場合**があります。

PI 牛は鼻汁、唾液、糞尿などあらゆる分泌液中に**大量のウイルスを排出**し、周りの牛は接触等により簡単に感染します。また、PI 牛は目立った症状をあらわすことは少なく、**見た目で見ただけで感染に気が付きにくい**ため、**知らず知らずのうちに周りの牛に感染が広がってしまう**恐れがあります。また、PI 牛が妊娠した場合には、必ずその子供も PI 牛として生まれます。

健康に見えても・・・



どうしたらいいの？

① 検査の実施

PI 牛の有無の確認のために定期的な検査をしましょう。

PI 牛の治療法はありません。速やかにとう汰し、感染を広げないようにしましょう。

② 導入牛のチェック

外部から牛を導入する際には、ワクチン接種状況の確認や、導入前または導入時に検査を行うなど、農場に PI 牛を入れないようにしましょう。

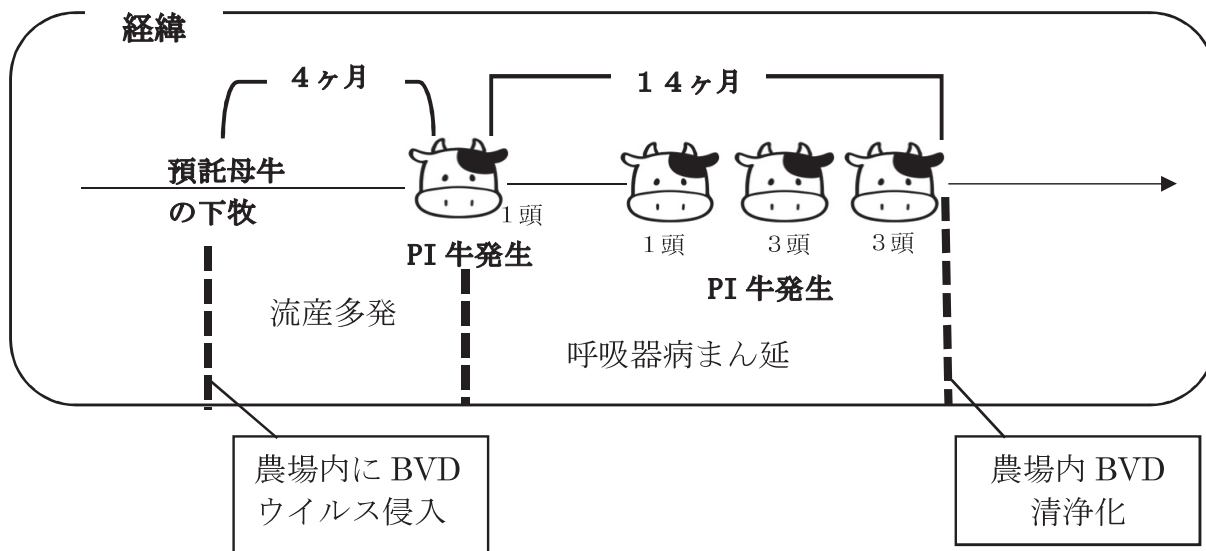
③ ワクチン接種

ワクチン接種で BVD ウイルス感染を防ぎましょう。

ワクチンには生と不活化がありますが、妊娠牛への生ワクチン接種は PI 牛の原因となる恐れがあるので注意しましょう。

PI牛がいるとどんな影響があるの？

～県内一農場(約120頭飼養農場)の事例～※



PI牛がいることによる農場の経済的損失は・・・

- ①出荷乳利益の減少 : 1日あたり 15,540円 ↘
- ②出荷子牛利益の減少 : 18ヶ月間で約211万円 ↘

➡ 農場内の牛1頭あたり年間9万円の損失と試算された例もあります。

※2017年 千葉県業績発表会 杉本らの報告

上記の事例以外にも、一般的にPI牛によりBVDウイルスに感染した他の牛は

- ・免疫機能の低下により他の病気にかかりやすく、重症化しやすい。
→ 治療費の増大
- ・発育不良、泌乳量の減少
- ・不受胎あるいは妊娠しても死産を起こしやすい。

上記に加えPI牛自体は

- ・妊娠した場合は、生まれた子牛は必ずPI牛となる。
- ・粘膜病という致命的な病気を発症する可能性がある。

農場全体の生産性が大きく低下！

BVDウイルス対策をしましょう！！

6月1日は「牛乳の日」6月は「牛乳月間」 3年ぶり「ミルクフェスティバル2022」を開催

6月4日(土)、5日(日)の2日間、千葉県立北総花の丘公園で新型コロナウイルス感染防止対策徹底のもと、3年ぶりとなるミルクフェスティバル2022を開催しました。

2日とも晴天に恵まれ併せて12,136人の来場者がありました。

今回は、「頭絡投げ」と「仔牛の展示」のコーナーを新設しました。



【頭絡投げコーナー うまく的に入るかな！？】

牛乳パックを的にめがけて頭絡を投げるシンプルな遊びです。

小さなお子様に大人気でした。



【仔牛の展示コーナー】

八千代市加茂牧場の仔牛を2頭展示しました。

仔牛の姿、行動に来場者の皆様興味津々に見つめていました。



【牧草ころがしコーナー 私たち力自慢！】

前回に引続き行われたコーナーで、今回も人気のコーナーでした。

コツを掴めばたとえ重かろうと上手にころがすことができます。



【搾乳模擬体験コーナー 上手に搾れたかな！？】

他にも毎回お馴染みですが、搾乳模擬体験、乳搾りゲーム、ポニー・ロバの乗馬、ロールベールラップサイロのらくがき、重機展示のコーナーがあり、いずれも大盛況でした。

今年も無事イベントを終えることができました。2日間ご協力いただきました、酪農家の皆さん、関係者の皆様ありがとうございました。(☺山口健児)

●生乳受託販売実績

①令和4年度4月～6月分受託販売実績[関東生乳販連] (kg)

都府県別	数量	前年比	用途別	数量	前年比
茨城	47,268,993	103.3	飲用牛乳向け	204,342,515	97.3
栃木	89,583,584	102.9	(うち学校向け)	33,442,531	97.2
群馬	44,158,526	98.4	はっ酵乳向け	36,648,274	97.1
埼玉	11,910,264	95.4	特定乳製品向け	33,114,529	133.9
千葉	50,423,558	99.1	(うち委託加工向け)		
東京	2,221,565	99.8	生クリーム向け	3,194,186	100.9
神奈川	7,214,906	94.4	チーズ向け	325,473	126.4
山梨	3,622,547	100.1	全乳哺育向け		
静岡	21,221,034	99.6	総受託乳量	277,624,977	100.6
合計	277,624,977	100.6	加工比率	11.93% (前年同期 2.96%)	

②令和4年度4月～6月分受託販売実績[県酪連] (kg)

乳業者	数量	前年比	備考	乳業者	数量	前年比	備考
明治神奈川	2,379,411	99.79		ちば南房総	8,623	107.26	
森永東京多摩	2,505,280	99.76		秋葉乳業	35,702	64.62	
横浜森永乳業	2,860,660	90.92		新生酪農	1,064,200	102.63	
計	5,365,940	94.84		協同牛乳	90,000	46.20	全酪再
雪印メグ野田	8,951,266	91.85	全農、全酪再 茨城県西CS含	小見川牛乳	14,300	110.00	
協同千葉	2,045,960	112.05	全農再含	JAちば東葛	1,180	101.72	
コーン乳業	10,059,033	103.46	全農再含	その他全酪再委託	0		全酪再
古谷乳業	9,207,489	99.46	全農再含	その他全農再委託	176,860	98.34	全農再
効ナシ横浜	4,188,087	119.71		その他一般	0		
君津牛乳	242,708	99.04		委託加工	0		
トッパンパッカーズ	15,320	88.97					
千葉酪	5,214,060	92.42					
千葉北部酪	1,363,419	96.85		合計(Kg)	50,423,558	99.08	

③令和4年度団体別生乳販売委託実績(kg)

	委託団体	4月	5月	6月	4～6月累計	前年比
1	千葉県みるく農	4,697,220	4,812,750	4,354,672	13,864,642	102.65
2	長生酪	148,936	148,267	126,141	423,344	91.63
3	千葉酪	788,144	810,305	732,222	2,330,671	94.03
4	千葉北部酪	593,747	607,304	555,178	1,756,229	99.49
5	八千代酪	1,437,641	1,494,701	1,374,363	4,306,705	99.92
6	千葉県三和酪	6,766,715	7,051,641	6,608,432	20,426,788	110.33
7	新生酪農クラブ	359,214	373,753	333,651	1,066,618	101.72
8	全農千葉県本部	2,103,496	2,160,750	1,984,315	6,248,561	90.77
	合計	16,895,113	17,459,471	16,068,974	50,423,558	99.08

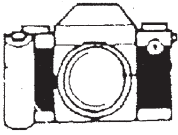
梅雨は明けたものの、ジメジメとした天気が続いております。熱中症対策にはこまめな水分補給を。牛乳を飲んで暑い日を楽しんでいきましょう(保浦達也)

第68回 千葉県乳牛共進会

日 時：令和4年10月25日(火)

場 所：千葉家畜市場
千葉県若葉区若松町432

出品頭数：80頭以内



牛群審査

6月6日～13日・20日～21日（安房地域）に、（一社）日本ホルスタイン登録協会 池田審査員の派遣を受け、牛群審査、後代検定娘牛体型調査、ロボット適合調査を行いました。

訪問前後の消毒等万全のコロナ感染対策を行い、延べ18戸、約171頭の審査、体型調査約72頭、ロボット適合調査約60頭の調査を実施しました。



千葉県知事へ表敬訪問

6月の牛乳月間にちなみ、今年も千葉県知事へ表敬訪問を行いました。毎日学校給食で提供されている牛乳を持参、6月4・5日に開催したミルクフェスティバルの実施報告、飼料高騰に対し早急に支援策を決定していただいたことのお礼など、面談予定時間をオーバーし懇談を実施しました。

実務担当者会議

5月13日、千葉市若葉区 千葉酪農協市乳工場3階PR室において実務担当者会議を開催しました。

令和4年の県単独補助事業・ちばの酪農夏季生産性向上対策事業、ちばの酪農増産支援事業、スマート畜産推進事業、国の補助事業・スマート畜産の全国展開に向けた導入支援、牛ウイルス性下痢（BVD）清浄化の取り組み、中小酪農経営等生産基盤維持・強化対策事業、酪農経営改善・需給均衡対策事業、酪農家動態調査、令和3年度乳代精算金等の報告、関東生乳販連集送乳経費プール並びに千葉県集送乳経費負担ルール、令和4年度千葉県酪連手数料について説明しました。



らくれんだより

2022年7月25日発行

（定価・1部35円）

■発行・千葉県酪農農業協同組合連合会
〒265-0041 千葉市若葉区富田町 1033-1
☎043-312-8512 FAX043-228-8338
■印刷・（有）M・ワールド

酪農生産者のロマンと消費生活者の安心をつなぐスペシャリストに

全国酪農業協同組合連合会(全酪連)

初乳粉末製品



ホルスタイン雌子牛“強化”哺育用



移行期専用配合飼料



情報誌バックナンバー、最新情報はコチラ。

全酪連

検索



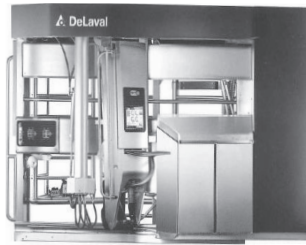
千葉県内、全酪連スタッフ巡回中！
牧場と一緒に良くていきましよう！
お近くの酪農協、千葉県酪連 業務課
もしくは全酪連 東京支所へ
お気軽にご連絡ください。

千葉県酪連 業務課
Tel.043(312)8513

全酪連 東京支所
Tel.03(5931)8011



搾乳ロボットVMS・V300



豊かな畜産経営に奉仕する

株式会社 ニッサク

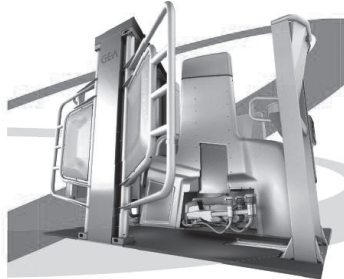
千葉県香取市山倉1692
TEL. 0478-79-2131(代)

<http://www.nissaku-c.co.jp>
E-mail:nissaku@itkeeper.ne.jp

理想的な高品質乳生産

Dairy Robot R9500

デーリーロボット



MULTI BOXタイプ



SINGLE BOXタイプ



中央オリオン株式会社

千葉営業所 TEL 043-228-8501(代)
安房営業所 TEL 0470-36-2761(代)

畜産経営のIT化をトータルサポート!

一歩先の農業経営へ!



農業ソフト…農業簿記

決算から申告まで農業会計をトータルにサポート
青色申告・白色申告両対応/個人・法人両対応/最新税制に対応!
減価償却資産・育成資産管理/不動産管理機能など



ハードウェア…Fujitsu その他各種メーカー



大崎コンピューターエンジニアリング

千葉市中央区問屋町1番35号(千葉ポートサイドタワー23階)
TEL 043(246)3671

“Fine Technology をさらに展開しサニタリー
エンジニアリングを通して豊かな暮らしに貢献する”

ヤスダファインテ株式会社



- クーラーステーション設備
- ミルクローリー
- 流量計装置

本社・工場 千葉県鴨川市北風原938
TEL:04-7097-1231
東京 本部 東京都墨田区東駒形4-12-10
TEL:03-3625-3481

